



ごはんcafe にこちゃん堂



アイスが食べたい！

「甘いものは苦手だけどアイスが食べたい！」  
それはオーナーさん自身の願い。そこから誕生  
したのが、フルーツの甘みをいかした手作りアイ  
ス。タルトと一緒にさっぱりおいしいアイス  
を食べる時間は、もう本当に幸せっ！



× ○○したい！からできたモノ = 虹色<sup>にじ</sup>

野菜が切りたい！

達成感やワクワク感を味わえるから、野菜を切  
ることが大好き！中でもかぼちゃやごぼう  
はお客さんにも大人気で切りごたえも最高！心  
にも身体にも優しいあったかご飯は、作る人が  
楽しいから食べる人だって楽しくなるね。





藝育カフェ Sankaku



## さんかくごはん

2014年春に誕生した、さんかくごはん。もちもちおいしい黒米ごはんや栄養満点のおかず。そして、思わず心がほっとするような豆乳の味噌汁。時には、アート作家さんやお客さんの声からメニューが生まれることもあるんだそう…！



## × 幸せごはん = 桃花色

もも はな

## ぜいたくおやつプレート

女性が大好きな“ちょこっとのせ”のおやつプレート。見た目のかわいさ、食べやすさ、おいしさ…どれをとってもパーフェクト！色鮮やかなスイーツを目の前に友人とおしゃべりするのもよし、ひとりでじっくり楽しむのも◎。





町屋かふえ 環奈



## おもてなしの心

お店に入ると奥から明るい笑顔でお出迎え。席につけば温かいお茶と干柿が。お客様との関わりを大切に、会話から何を求めているのかを見つけ出す。そんな寛ぎの空間を提供できるのは、元ホテルマンのお二人だからこそ。



—わ— あか べに  
× 人との環 = 赤紅色

## こだわり

お客様の飲む顔を一番に考えているお二人。それは色んな所に表れている。「環奈の小箱」は開ける瞬間をより楽しめるよう、金箔であしらわれた厳選されたお重で。小さな気遣いや徹底されたこだわりからお店の温かさを感じ取れる





hono-a



## 自分だけの布

小さい頃からものづくりが好きだったという、hono-aさん。絵を描いているような感覚で刺繍を施すのは、無地の布。そうすることで、それが自分の“オリジナルの布”になる。そんな想いを込めて手作りされる数々の刺繍小物たち。



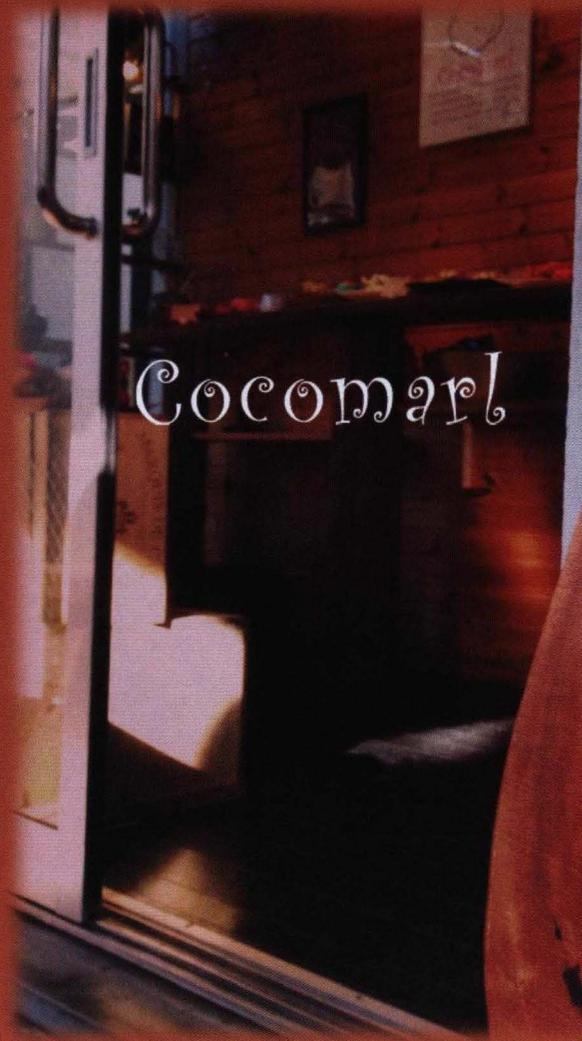
あかね  
× ここにしかないモノ = 茜色

## たったひとつ

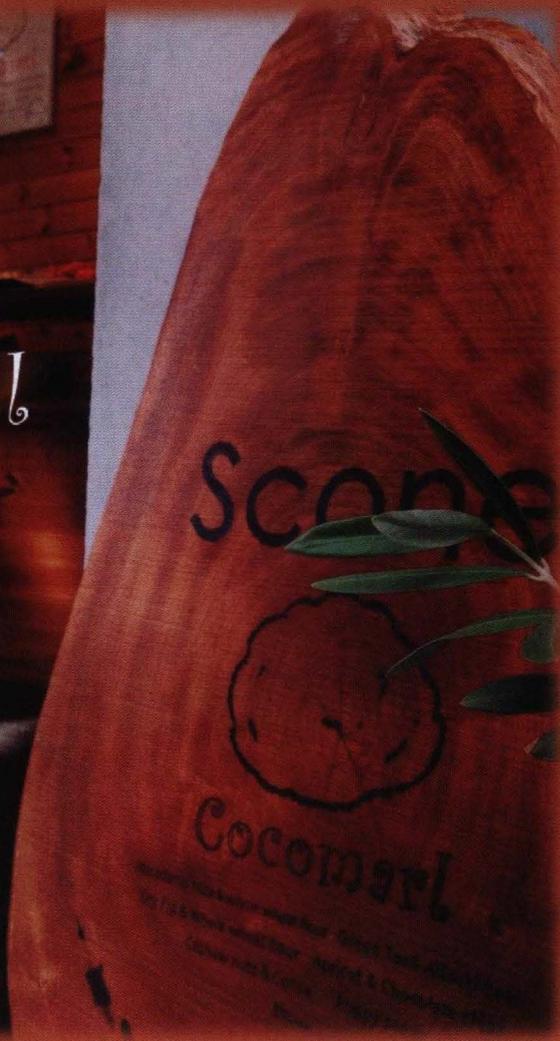
デザインから制作まで、すべて手作り！鹿や大仏の刺繍入りキーチャーム、ピアスやブローチなど…。誰もがほっこりした気持ちになれる幸せの刺繍。あなただけの“たったひとつ”のお気に入りを探してみては？

\*写真の転載・デザインの模倣はご遠慮ください。





Cocomarl



Scope



Cocomarl



ときめき空間

可愛い食器やお洒落なレイアウト、季節の小物が創り出す空間は、普段感じることのできないときめきを与えてくれる。「また誰かを連れて来たい」そんな思いが自然に沸き起こるこの空間は、より一層スコーンを楽しませてくれる。



× スコーンの世界へようこそ = 黄櫨染色 こうろぜん

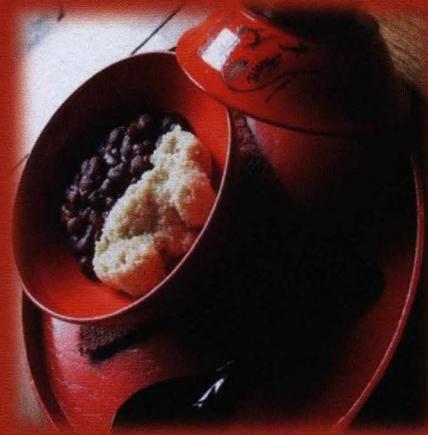
わくわく空間

「ドアを開けた瞬間」この一番最初の印象で、ここがなんだか楽しい場所ってことに気づく。歌いたくなるような音楽と、目の前に広がるたくさんさんのスコーン。そして何よりドアを開けた瞬間にふわっとスコーンの匂いに囲まれる幸せ





心樹庵



## お茶とスイーツの魔法

心樹庵では、お茶に合ったスイーツもおすすめのひとつ。あわせんざいや、柿ケーキにチョコレートケーキなど、季節ごとに色々な味が楽しめる。「美味しいお茶に一番合うお菓子を」というお店のお茶へのこだわりがあらわれている



× お茶を彩るココロ = 丹色<sup>に</sup>

## 全<sup>て</sup>は美味しいお茶のため

「美味しいお茶を最高の状態でお客さんに提供したい」という店主の想いは、粘土作りからこだわった数百種の茶器や、お茶に最も合う天然水を使用していることにも表れている。お店の全てのものが、美味しいお茶に繋がっている。



寧楽菓子司 中西与三郎



## 和菓子の魅力

お店に一步足を踏み入ると、色とりどりの和菓子が出迎えてくれる。定番の和菓子から季節の生菓子まで、どれにしようか迷ってしまう。おすすめは、ならまちのお守り「庚申さん」をかたどった生菓子。(左ページ中央下)

寧楽菓子司



中西与三郎

× 織細なひとくち = 紅緋色

べにひ

## 奈良にしかないものを

古都奈良で、ここにしかない正倉院の宝物のような美しさをどのように和菓子に映していくのか。そして和菓子を食べていかに奈良の良さを感じ取ってもらえるか、ということを考えながらつくられた和菓子は、とても繊細な味である





砂糖傳 増尾商店



◇ 古 代から続くお米の飴

奈良では珍しい砂糖のお店『砂糖傳』。おすすめはなんといってもお米からつくられた「御門米飴」。余計なものは一切入っていない素朴な風味で、食べるとやさしい気持ちになれます。赤の壺と黒の壺、好きな方をどうぞ。



× 病氣知らず = 弁柄色 べんがら

◇ あ ま ~ い お 菓

米飴は美味しいだけではありません。ビタミンB2やミネラルが豊富で栄養たっぷり！そのまま食べるのはもちろん、料理の隠し味にも、そして花粉症予防や風邪予防ののど飴にもなります。甘い甘い万能薬、一度お試してみてください。



ところ狭しと並ぶ本の山



不思議な名前の古本屋さん



本だけでなく、おもちゃも・・・



ならまちのぞきあな

酒仙堂

遊悠工房 ZOO&かぎろひ

× 見つかるかな？掘り出し物 = あかいろ

みんなのお守り



屋根の上にいるのは・・・？



「こうしんさん」って読むんだよ



ならまちのぞきあな

庚申堂

御霊神社

× 心落ち着く場所 = あかいろ



鹿の角を使ったアクセサリ

奈良にちなんだ手作り体験がいっぱい！

握ってできる猫ちゃん

なんて可愛い絵馬！

鳥居をくぐると心が静まります

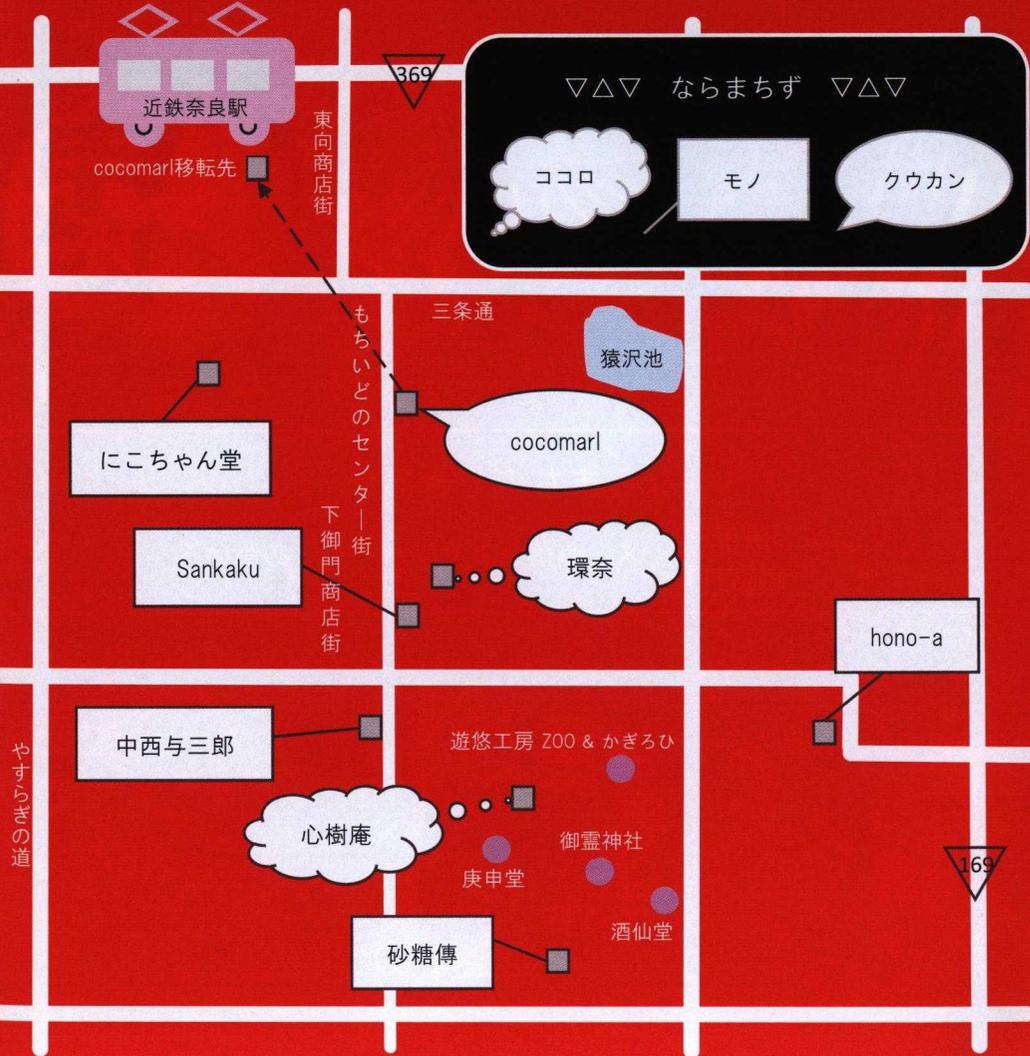
ドキドキの恋みくじ

お店一覧（掲載順）

- ・ にこちゃん堂 <http://nicochandou.net/top.html>
- ・ 藝育カフェ Sankaku 奈良市下御門町28-1 2階
- ・ 町屋かふえ 環奈 0742-25-2150
- ・ hono-a <http://hono-a.jimdo.com/>
- ・ cocomarl <http://www.cocomarl.com/>  
※ 店舗の移動時期、場所についての詳細はHPをご確認ください。
- ・ 心樹庵 <http://ryuuokutu302.wix.com/shinjuan>  
※ 日曜日はお休みです。詳細はHPをご確認ください。
- ・ 寧楽菓子司 中西与三郎 0742-22-3048
- ・ 砂糖傳 増尾商店 0742-26-2307

□ならまちのぞきあな

- ・ 酒仙堂 奈良市薬師堂町32-2
- ・ 遊悠工房 ZOO&かぎろひ 0742-26-4387
- ・ 庚申堂 奈良市西新屋町40-1
- ・ 御霊神社 奈良市薬師堂町24



## Special Thank you.

- 大学生アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。  
・大阪産業大学、共栄大学、京都文教大学、埼玉大学  
島根大学、鳴門教育大学、立命館大学、和歌山大学  
以上の大学に通う、大学生のみなさま

- 街頭アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。  
・アンケート実施にあたりご協力頂いた奈良市観光協会のみなさま  
・鹿嫌いの克服とその付き添いで来ていた女の子2人組  
・久しぶりのデートに奈良を選んで遠距離カップル  
・友達との楽しい飲み会を奈良で開催した女の子3人組  
・ずっとにこにこしてとても癒されたカップル  
・学校終わりにご飯を食べに奈良に来た女の子2人組  
・ならまちにランチを食べにきたお姉さん2人組  
・同じ奈良の大学生ということで、共感できるお話をしてくれた女の子2人組

- シンポジウムアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。  
・元興寺のみなさま  
・シンポジウム参加者のみなさま

- 共同制作者のみなさま、ありがとうございました。  
・平山豊さん、植木香さんをはじめとした、奈良信用金庫のみなさま  
・日本総合研究所 山本大介さん  
・奈良県立大学 伊藤忠通学長、岡本健先生  
・NPO法人北海道冒険芸術出版 堀直人さん

決してわたしたちだけで作ったものではありません。  
ここに書ききれないほどの、何百人という人たちの想いが詰まったこのガイドブック、  
ぜひ大切に読んでいただきたいと思います。

「やまといろ」に携わってくださったみなさま、本当に本当にありがとうございました。

## あとがき

最後までこのガイドブックを読んでいただき、本当にありがとうございます。

突然ですが、みなさんは「奈良」と聞くと何を思い浮かべますか？  
鹿？大仏？東大寺？

実はこのガイドブックに載っているお店、すべて奈良の『ならまち』というエリアにあるんです。

もちろん鹿や大仏も奈良の魅力のひとつ。

でもね、奈良は他にも素敵なモノ・ココロ・クワンがたくさん詰まった場所なんです。  
みなさんにそのことを知ってほしくて、奈良の大学生である私たちはこのガイドブックをつくりました。  
これを見て、少しでも奈良に行きたいな、と思っていただければとってもうれしいです。

さて、もうひとつみなさんに質問です。このガイドブックを読んで、なんだか物足りないと感じた人、  
いませんか？

その「物足りない」は大正解ですよ。

実はこのガイドブック、あと2冊仲間がいるんです。

『きいろ』と『あおいろ』、そしてこの『あかいろ』、この3冊がそろって初めてならまちのガイドブックになります。全部揃えてみてくださいね。

最後になりますが、このガイドブックを作成するにあたり、快く取材をひきうけてくださったお店の方々、たくさんのアドバイスをくださった伊藤学長、岡本先生、平山さん、植木さん、山本さん、そして制作に携わってくださった皆さまには、感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

そしてまほろ、りほちゃん、二人がいてくれたから頑張れました。

ありがとう。

宮武 彩

問い合わせ先：yamatoiro\_gb@yahoo.co.jp （やまといろプロジェクト）